

平成28年度第1回 国土交通省航空局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成28年6月17日(金) 中央合同庁舎第3号館 1階 共用会議室	
委員	委員長 浅野 正一郎 (国立情報学研究所名誉教授) 委員 廣渡 鉄 (廣渡法律事務所 弁護士) 委員 高田 和幸 (東京電機大学理工学部教授)	
審議対象期間	平成27年10月 1日～平成28年3月31日	
工事	抽出案件	1件
	一般競争	1件
	公募型指名競争	0件 (対象案件なし)
	通常指名競争	0件 (対象案件なし)
	随意契約	0件 (対象案件なし)
建設コンサルタント 業務等	1件	
役務及び物品	1件	
地方官署 工事・一般競争	0件	
合計	3件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 の具申又は勧告の 内容	なし	

(別紙)

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
<p>[工事]</p> <p>一般競争</p> <p>【評価用飛行情報管理処理システム (FACE) 増設機器設置その他工事】</p> <p>○今回応札された3者は緩和したことによって参加することができるようになった事業者か。</p>	<p>○残念ながら従前から参加できる事業者である。</p>
<p>[建設コンサルタント業務等]</p> <p>一般競争</p> <p>【首都圏空域再編に伴う空港管制処理システム及び航空路管制処理システム性能向上に係るシステム設計】</p> <p>○1者応札になった分析にある「過去の既存内容等を理解、分析するための時間がかかるため」とは、具体的にどのようなことか。</p> <p>○航空の特殊性で新規参入が難しいのはわかってきた。公告期間を若干長くしたから他者が手を挙げることは難しいと思うが、性格上やむを得ない気もする。今後も一般競争入札を執られるのであれば、対等な競争ができるようにしてもらいたい。</p>	<p>○例えば(株)三菱総合研究所は、以前から航空局の仕事に携わり、CARATSの検討にも深く関わっている実績がある。</p> <p>○他にもこの分野の研究者はいるため違う発想が出てくるのではないかという期待があり、そのため一般競争という判断をした。ちなみに、本案件についての入札説明書は4事業者が受け取りにきた。</p>
<p>[役務及び物品]</p> <p>一般競争</p> <p>【飛行検査用航空機2式の購入】</p> <p>○同一機種を購入することになったが、それについてのメリットとデメリットをお聞かせ願いたい。</p> <p>○設置する測定機器やアンテナの競争性はどうか。といった状況か。</p>	<p>○メリットとしては、予備品、整備士の技量、操縦者の資格といったが大きく、また、コストダウンもあり、飛行検査として求められるものを満たしているのであれば、そちらを選択することになる。デメリットは、あえて申し上げれば今回のように競争性が働きにくい部分だと思われる。</p> <p>○飛行検査システムの製造業者は、世界的に2~3者と少数である。</p>

